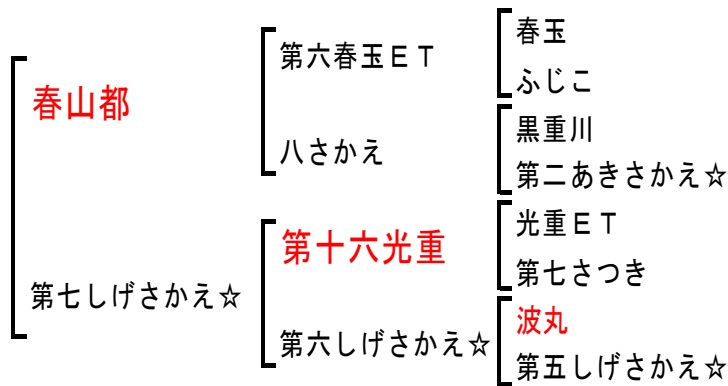


熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2018

はるやまさかえ 褐毛和種種雄牛「春山栄」の選抜



問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 脂肪交雑、ロース芯面積、ばらの厚さで歴代最高を記録！枝肉重量においても優れた能力を持っており、「春山都」の後継牛として肉質・増体ともに期待できる種雄牛です。

【現場後代検定成績】

(単位:kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3等級以上)
去勢 7 頭	24.5	508.1	62.6	8.5	3.1	74.0	5.14	100.0% (7/7)
雌 8 頭	24.0	457.0	57.5	7.9	3.6	73.2	3.75	62.5% (5/8)

【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	560kg
ロース	85cm ²
バラ厚	9.3cm
BMSNo.	8
等級	A-5

形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい							大きい	1.63
ロース芯面積	小さい							大きい	3.27
バラの厚さ	薄い							厚い	2.35
皮下脂肪	厚い							薄い	0.09
脂肪交雑	少ない							多い	2.57

標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値
1を超えるとその特徴を持つといえる